



機能の概要

[請求書の例外率] ベンチマークウィジェット (BNA-199)

コンテンツオーナー: Chris Chase

一般提供予定: 2023 年第 3 四半期 (リリース 2308)

説明: [請求書の例外率] ベンチマークウィジェット

機能の説明

- [請求書の例外率] ベンチマークウィジェットでは、サプライヤのホームページ上にすべてのサプライヤの全体的な請求書の例外率を表示できます。
- [請求書の例外率] ベンチマークウィジェットにより、サプライヤは顧客の請求書の例外率の実績と Network の総合業績を比較することができます。
- サプライヤは、サプライヤの地域、バイヤーの業種、およびバイヤーの実績四分位数に基づいて業績を比較することができます。
- サプライヤには前四半期、前月、過去 12 カ月間の選択肢があります。

主なメリット

- サプライヤは、ベンチマーク評価をツールとして使用することにより業績を改善することができます。
- サプライヤは、契約交渉および四半期ごとのビジネスレビューで取り上げる顧客の行動を特定することができます。
- 幅広い業種/地域のベンチマーク評価データを利用できます。
- ベンチマークサービスプロバイダとデータを共有するために必要な、費用のかかるデータ収集アクティビティが不要になります。

対象ユーザー:
サプライヤ

イネーブルメントモデル:
自動的に有効

対象ソリューション:
SAP Business Network



ユーザーの事例

ユーザーの事例: 会社のファイナスマネージャと、顧客と交渉を行う販売マネージャが、会社の請求書の請求書例外率を把握する必要があります。

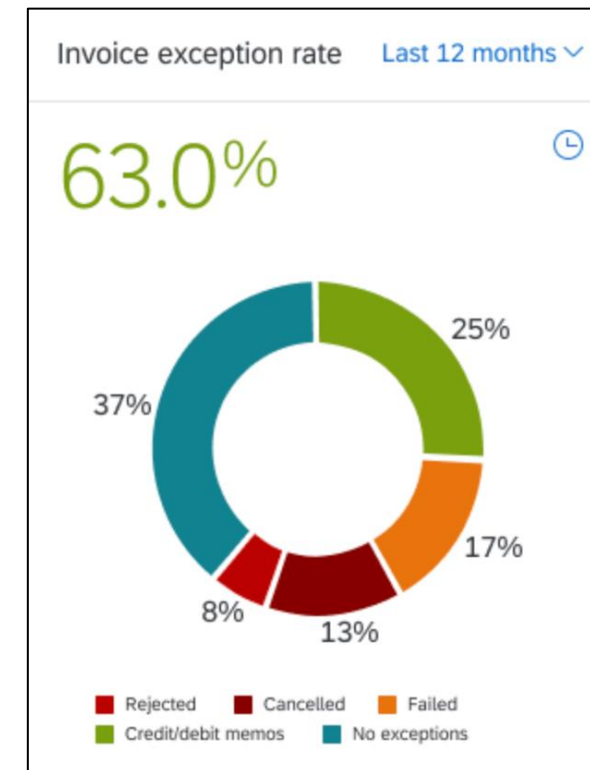
請求書に多くの例外がある場合、顧客に確認する必要がある問題が多数存在する可能性があります。請求書に例外が含まれている場合、支払いが予定どおり行われず、最終的な収益に影響を及ぼす例外に対応するためのコストが発生するリスクがあります。

請求書の例外率が低い顧客には以下のような特徴があります。

- 請求書の提出に関する標準のプロセスおよび形式
- Ariba Network 上で自動化インターフェイスを使用して設定するシンプルなビジネスルール
- 紙の請求書の提出を削減する方法の導入
- 注文書の使用をサポートする奨励金
- 監視および測定を含む内部の実績の重視

会社では、顧客のプロセス改善目標をサポートすることが重視されています。

KPI の定義: [請求書の例外率] では、サプライヤが経理部門に送信した請求書のうち、何らかの種類のエラーがあり、AP によって却下された請求書の割合が測定されます。





前提条件、制限事項、注意事項

前提条件

- なし

制限事項

- Bronze レベル以上の登録が必要です。
- このウィジェットを表示するには、[支払アクティビティ]、[送信トレイへのアクセス]、または [請求書の作成] の権限を持っている必要があります。
- このウィジェットには、テストアカウントからのオーダーデータは含まれません。

注意事項

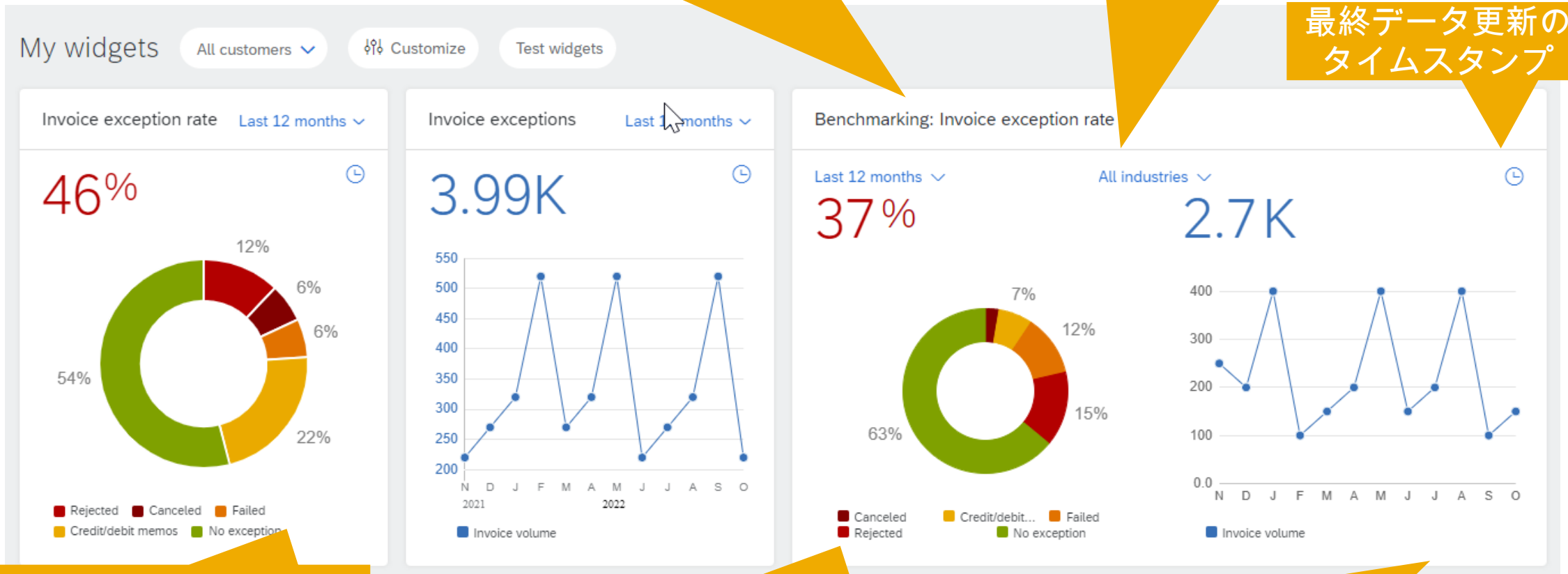
- SAP Business Network KPI のフレームワークには、不良データ、テストデータ、または KPI の計算に干渉する可能性のあるデータ異常値を識別して除外するインテリジェンスが含まれます。そのため、Ariba Network では、KPI 計算の際に状況が [支払済み] の支払予定と完全に照合されないことがあります。

機能の詳細

日付範囲選択リスト: 過去 12 カ月間、前四半期、前月

選択リストを使用して、バイヤーの業種、サプライヤの地域、またはバイヤーの実績四分位数に基づくベンチマーク評価を実行できます。

最終データ更新のタイムスタンプ



ベンチマークを顧客の実績と比較できます。

ドーナツグラフには、選択した日付範囲における請求書の例外率が表示されます。

折れ線グラフに月ごとの例外数が表示されます。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2023 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしで変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する情報および表示の詳細については、www.sap.com/trademark をご覧ください。